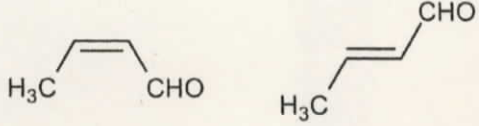


毒物に指定するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
クロトンアルデヒド	 C_4H_6O / $(CH_3CH=CHCHO)$ 分子量 70.1 CAS No. 4170-30-3	原体及びこれを含有する製剤	外観：特有の刺激臭のある無色の液体 沸点：104℃ 融点：-76℃ 相対蒸気密度：2.41 (空気=1) 相対比重：0.85 (水=1) 蒸気圧：3.2 kPa (25℃) 溶解性：水；18.1g/100mL (20℃) エタノール、エーテル、アセトンに可溶 引火点：8℃ (高引火性液体) 安定性・反応性： 酸、塩基と接触すると重合化；酸化剤と反応すると危険	原体： 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット >50 ~ ≤300 急性経皮毒性 LD_{50} (mg/kg) ウサギ* 128 急性吸入毒性 LC_{50} (mg/m ³ (0.5hr), mg/L (4hr), ppm (0.5hr) (4hr)) ラット 4000mg/m ³ (0.5hr), 1400ppm (0.5hr) (⇒ 486, 495ppm (4hr)) (ガス) ラット 88ppm (4hr) (=0.26mg/L (4hr) (ガス)) 皮膚腐食性 ウサギ* + 眼刺激性 ウサギ* +	ブタノール、クロトン酸、ソルビン酸等の各種化学薬品及び医薬品の製造原料。樹脂及びポリビニルアセタールの製造原料。ポリ塩化ビニルの溶媒。ゴム酸化防止剤。

※ 急性毒性：単回投与（暴露）によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD_{50} (Lethal Dose 50)又は LC_{50} (Lethal Concentration 50)：50%致死量（濃度）を表し、投与（暴露）された動物のうち50%が死亡する投与量（濃度）を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

4

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
クロロ酢酸メチル	$\text{C}_3\text{H}_5\text{ClO}_2$ 分子量 108.5 CAS No. 96-34-4	原体及びこれを含有する製剤	外観：特徴的な臭気のある無色の液体 沸点：130℃ 融点：-32℃ 相対蒸気密度：3.7（空気=1） 相対比重：1.2（水=1） 蒸気圧：650 Pa（20℃） 溶解性：水；4.6g/100mL（25℃） アルコール、エーテルに可溶 引火点：57℃（引火性液体） 安定性・反応性： 還元剤、酸化剤と反応	原体： 急性経口毒性 LD ₅₀ （mg/kg） ラット＞50～≦300 急性経皮毒性 LD ₅₀ （mg/kg） ウサギ　318 急性吸入毒性 LC ₅₀ （ppm（4hr）） <u>ラット　210～315（ガス）</u> 皮膚刺激性 ウサギ　強度の腐食性 眼刺激性 ウサギ　重篤な損傷	医薬品（ビタミンB1・B6）、香料、農薬、界面活性剤等の溶剤等。

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

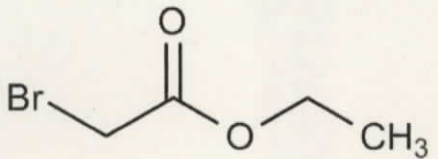
※ LD₅₀ (Lethal Dose 50) 又は LC₅₀ (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
テトラメチルアンモニウム＝ ヒドロキシド	$ \begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+-\text{CH}_3 \\ \\ \text{CH}_3 \end{array} \quad \text{OH}^- $ $\text{C}_4\text{H}_{13}\text{NO} / (\text{CH}_3)_4\text{NOH}$ 分子量 91.2 CAS No. 75-59-2	原体及びこれを 含有する製剤	外観：白色の吸湿性針状結 晶 沸点：135～140℃で分解 融点：63℃ 相対蒸気密度：3.1 (空気=1) 相対比重：1.0(水=1) 蒸気圧：1.55×10 ⁻⁶ hPa (25℃) 溶解性：水；1000g/L(25℃) オクタノール/水 分配 係数(log P)：-2.47 その他の溶解性： — 安定性・反応性： 水溶液は塩基と強く反 応。金属と触れると水素ガ スを発生。	原体： 急性経口毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット 34～50 急性経皮毒性 LD ₅₀ (mg/kg) ラット 112 急性吸入毒性 データなし 皮膚刺激性、眼刺激性 強いアルカリ性から腐植性物 質と推定	半導体及び液 晶パネルのフォ トリソグラフィ プロセスにおい て使用。電子部 品洗浄剤。触 媒。試薬。

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又はLC₅₀(Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

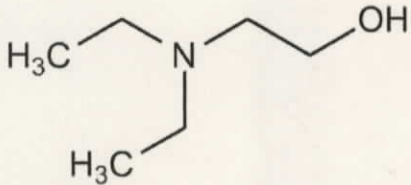
毒物に指定するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
ブロモ酢酸エチル	 $C_4H_7BrO_2$ 分子量 167.0 CAS No. 105-36-2	原体及びこれを含む製剤	外観：無刺激臭を伴う無色の液体 沸点：159℃ (他のデータ 168.5℃) 融点：-38℃ 相対蒸気密度：5.8 (空気=1) 相対比重：1.5(水=1) 蒸気圧：449 Pa(25℃) 溶解性： 水に不溶(分解する。) オクタノール/水 分配係数 (log P)：1.12(他のデータ： 0.21) エタノール、エチルエーテルに混和、ベンゼン、アセトンに可溶 引火点：48℃(引火性液体) 安定性・反応性： 水、酸、塩基と反応	原体： 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) ラット>50～≤300 急性経皮毒性 データなし 急性吸入毒性 致死濃度(ppm(4hr)) <u>68(ガス)</u> 皮膚刺激性 ヒト 軽度の刺激性 眼刺激性 ヒト 重篤な損傷	医薬品及び農薬の製造中間体。有機合成原料。

※ 急性毒性：単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD_{50} (Lethal Dose 50)又は LC_{50} (Lethal Concentration 50)：50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

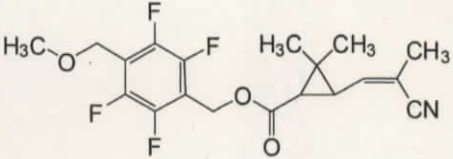
劇物に指定するもの(濃度下限値設定により劇物から除外するものを含む。)

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
2-(ジエチルアミノ)エタノール	 $\text{C}_6\text{H}_{15}\text{NO} / (\text{C}_2\text{H}_5)_2\text{NC}_2\text{H}_4\text{OH}$ 分子量 117.2 CAS No. 100-37-8	原体及びこれを含有する製剤(0.7%以下を含有するものを除く。)	外観:無色透明の吸湿性液体 沸点:163℃ 融点: -70℃ 密度:0.88g/cm³(25℃) 相対蒸気密度:4.04 (空気=1) 相対比重:1.02(水=1) 蒸気圧:0.19 kPa(20℃) (他のデータ:0.25 kPa(20℃)) 溶解度: 水に混和(1000g/L)、オクタノール/水 分配係数(log P):0.31(他のデータ:0.21) エタノール、エーテル、アセトン、ベンゼンに可溶 引火点:52℃(引火性液体) 安定性・反応性: 室温で安定。吸湿性。強酸、強酸化剤と反応	原体: 急性経口毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット 1300 急性経皮毒性 LD₅₀(mg/kg) ウサギ 1,100 モルモット 885(4日間適用。4時間では1000超と推察) 急性吸入毒性 LCL₀(mg/L(4hr)) ラット 4.5(蒸気) 皮膚刺激性 ウサギ + 眼刺激性 ウサギ 強度の刺激性～腐植性 0.7%製剤: 急性経口毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット>2,000 急性経皮毒性 LD₅₀(mg/kg) ラット>10,000 急性吸入毒性 LC₅₀(mg/L(4hr)) ラット>4.43(ミスト)* *:理由 ・経験則から最初は空気供給量を低めに設定し、徐々に上げて濃度の適正条件を探ったが、	医薬品(抗ヒスタミン剤、抗マラリヤ剤、局所麻酔剤、鎮痛剤等)の製造原料。印刷インキ及びアゾ染料の緩衝揮発剤。燃料油のスラッジ防止剤及び分散剤。ワックス類の乳化剤。防錆剤。エポキシ樹脂の低温重合促進剤。ウレタンフォームの発砲触媒。

				12.0L/min から 13.0L/min まで上げたところで濃度が平衡若しくは減少傾向となり、相関性が不良という結果になった。従って、13.0L/min の濃度 5.22mg/L が技術的な発生限界濃度であるとして、当該数値を目標に本試験を実施し、曝露濃度が 4.43mg/L という結果になった。 一方、経済協力開発機構(OECD)の化学物質の試験に関するガイドライン／急性吸入毒性試験(403)中に、ミストの場合 5mg/L 又は到達可能な最大濃度が上限濃度である旨記載されており、本試験の曝露濃度設定は妥当であると判断した。 皮膚刺激性 <u>ウサギ</u> — 眼刺激性 <u>ウサギ</u> 軽度の刺激性	
--	--	--	--	---	--

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀(Lethal Dose 50)又は LC₅₀(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1RS, 3SR)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート及び2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラートの混合物(2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メキシメチル)ベンジル=(Z)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート80.	 $C_{19}H_{19}F_4NO_3$ 分子量 385.35 CAS No. 609346-29-4	原体並びにこれ を含有する製剤	外観:白色の粉末又は小塊 融点:71.2℃ 蒸気圧:0.055 mPa(25℃) 溶解性:水;2.11 mg/L (20℃) オクタノール/水 分配 係数(log P):3.369 安定性・反応性: 通常のご扱いにおいて安 定	原体: 急性経口毒性 LD_{50} (mg/kg) <u>ラット(♂) > 2,000</u> <u>ラット(♀) > 300 ~ < 2,000</u> 急性経皮毒性 LD_{50} (mg/kg) <u>ラット(♂, ♀) > 2,000</u> 急性吸入毒性 LC_{50} (mg/kg) <u>ラット(♂, ♀) > 2</u> 皮膚腐食性 <u>ウサギ' -</u> 眼刺激性 <u>ウサギ' 極く軽度の刺激性</u>	殺虫剤原体

9%以上を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メトキシメチル)ベンジル=(E)-(1R, 3R)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート10%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メトキシメチル)ベンジル=(Z)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート2%以下を含有し、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メトキシメチル)ベンジル=(EZ)-(1R, 3SR)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート1%以下を含有し、かつ、2, 3, 5, 6-テトラフルオロ-4-(メトキシメチル)ベンジル=(E)-(1S, 3S)-3-(2-シアノプロパー1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート0.2%以下を含有するものに限る。)					
---	--	--	--	--	--

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD₅₀ (Lethal Dose 50)又はLC₅₀ (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。